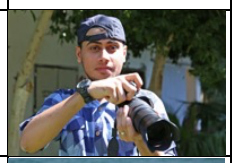
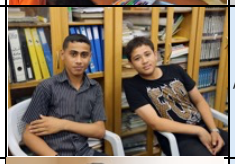
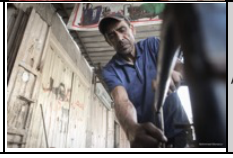
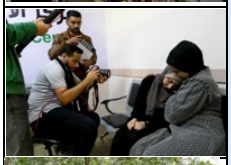
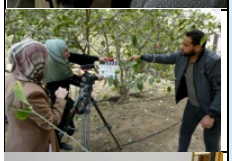
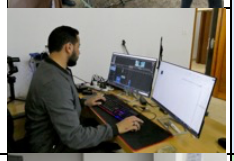
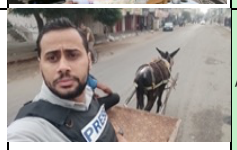
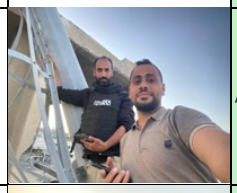
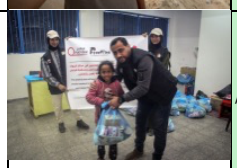
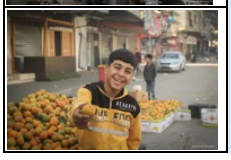
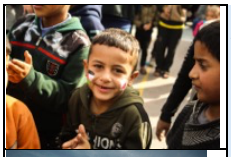
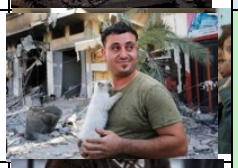
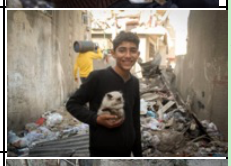
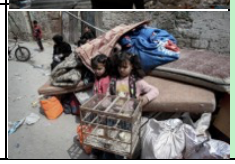
（3）モハマッド・マンスールセット

連番	番号		印刷サイズ	撮影詳細	キャプション
1	入１		A1	撮影日：2015年7月30日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：後藤明子	「いつか僕が、ガザの現実を世界に伝える」 ジャーナリストになりたいと語り、一眼レフを構えたモハマッド。そのまなざしの強さに心を打たれ、迷わずシャッターを切った一枚。今はもう会えない彼の夢と希望が、この一枚に刻まれている。
2	入２		A2	撮影日：2011年7月30日 撮影場所：ガザ市、ガザ地区 撮影者：後藤明子	束の間の自由を感じた瞬間（とき）。ガザでは、海が数少ない“自由を感じられた場所”。閉ざされた日常の向こうに、ひらけた海があった。サマーキャンプで訪れたこの日、モハマッドが満面の笑みで、こちらに手を振ってくれた。
3	Ｉａ		A2	撮影日：2009年8月3日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：石橋優子	モハマッド13歳 2008年末から2009年初めにかけて、ガザ地区は連日空爆に見舞われた。心のケアの活動に参加していたモハマッド少年の強い意志に惹かれた。
4	Ｉｂ		A2	撮影日：2010年6月21日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：後藤明子	モハマッド14歳 最初の出会いから約１年後、心のケアの活動で描いた夢や希望の絵。この時は、あたたかく前向きな思いを感じられるような、やさしい色合いの絵を描いた。
5	Ｉｃ		2枚を一つにまとめてA3	撮影日：2009年8月4日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：桑山紀彦	Ic（上）「忘れられないあの日」 「色は自由の象徴。空爆され、占領されている自分たちの街に色はない」とモハマッドは言った。 Ic（下）「夢や希望」 「いつか日本に行きたい。戦争から立ち上がった日本をこの目で見てみたい」と、街に色をつけた。
6	Ｉｃ			撮影日：2010年7月29日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：桑山紀彦	
7	Ｉｄ		A4	撮影日：2011年7月28日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：後藤明子	モハマッド15歳 心のケアのクラスに継続して参加した。年齢が上がり、クラスの中ではリーダー的存在。
8	Ｉｅ		A2	撮影日：2012年6月23日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：後藤明子	モハマッド16歳 少しずつ心の中を共有し、友達やスタッフ、日本人と関わる中で、初対面のときの鋭さは薄れ、やわらかい表情を見せるようになってきた。
9	Ｉｆ		A2	撮影日：2014年9月17日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：桑山紀彦	モハマッド18歳 大学生になり、初めてのパスポートを手に。日本に行くことを願っていたが、この時は行けず。日本に行くことが彼の夢の一つだった。
10	Ｉｇ		A2	撮影日：2015年6月27日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：後藤明子	モハマッド19歳 心のケアプログラムのひとつ、映画撮影ワークショップにスタッフとして参加。役者として演じる傍ら、出演する子どもたちには厳しい演技指導を。
11	Ｉｈ		A2	撮影日：2017年9月13日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：石橋優子	モハマッド20歳 マルチメディア科でジャーナリズムの勉強に励む。その躍動感あふれる写真には驚かされた。
12	Ｉｉ		A4	撮影日：2023年11月10日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	モハマッドは、学生の頃から職人や労働者を好んで撮影していた。戦争が始まった後も、彼はライフワークの一つとして、ガザの職人の写真を撮影しつづけていた。

13	l j		A2	撮影日：2020年2月20日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohammed Farhat	モハマッド23歳 大学卒業後、地球のステージのガザスタッフになり、広報や心理社会的支援（PSS）の活動の一つである映画撮影ワークショップなどで力を発揮。
14	l k		4枚を一つにまとめてA２とする	撮影日：2022年12月13日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：石橋優子	モハマッド26歳 映画撮影ワークショップでは、モハマッドは機材や撮影手法の指導から、演技指導や編集までを担う。彼が制作した映画「Live」は、写真同様困難な中で生きる人々の強さを捉えた作品となっている。
15					
16					
17					
18	l l		A3	撮影日：2023年3月7日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：中村順子	モハマッド26歳 モハマッドの自宅で妹のアッラーと共に、彼が大切にしている私たちとの写真を見ながら、楽しい思い出を語りあった。この時が、私たちがモハマッドに会った最後となった。この７ヶ月後、ガザ戦争が始まった。
19	l m		A3	撮影日：2023年11月13日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	モハマッド26歳 ガザ戦争が始まった直後から、彼はPressと書かれた防弾チョッキに身につけ、ガザ各地での取材を開始した。すでにガソリンなどの入手が難しくなっていたため、移動はロバで行っていた。
20	l n		A3	撮影日：2024年5月17日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	モハマッド27歳 ガザのジャーナリストたちとの連携。ガザジャーナリスト連盟の写真は、誰もが世界に発信できるよう著作権フリーである。モハマッドは、仲間から共有された写真も私たちに送ることで、ガザの惨状を世界に広く発信しつづけた。
21	l o		A3	撮影日：2024年5月17日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	モハマッド27歳 2024年5月17日、モハマッドは生まれ育ったラファからハンユニスに退避した。絶望の中、それでも「ガザの人々の声を届けることにしか希望はない」と考え、この日以降も取材を続けた。
22	l p		A3	撮影日：2025年1月21日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 撮影者：Nour Imad **協力：朝日新聞**	モハマッド28歳 モハマッドはジャーナリストであるが、地球のステージのガザスタッフでもある。脆弱者への食糧物資支援を実施。この頃は一時停戦後で物資配布ができたが、現在物資はほぼ入手できず、ガザは飢饉の重大なリスクに直面している。
23	l 3		4枚を一つにまとめて	撮影日：2023年11月25日 撮影場所：ラファ, ガザ地区 協力：朝日新聞	戦争下や過酷な状況で、モハマッドが見つけ色彩。いずれもガザの人々の優しさや強さを感じることができる。
24				撮影日：2023年11月25日 撮影場所：ラファ, ガザ地区 協力：朝日新聞	

25			A２とする	撮影日：2024年1月8日 撮影場所：ラファ, ガザ地区	ガザを愛したモハマッドの代表作。
26				撮影日：2025年1月19日 撮影場所：ハンユニス、ガザ地区 協力：朝日新聞	
27	Ⅱ④a		4枚を一つにまとめてA3	撮影日：2023年10月22日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	戦禍でも小さな命を守り、愛でるガザの人々。 右下の写真（Ⅱ④d）で、空の鳥籠をもつ姉妹は飼っていた小鳥を逃し、ハンユニスへと避難していった。
28	Ⅱ④b			撮影日：2023年10月22日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour	
29	Ⅱ④c			撮影日：2023年10月25日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	
30	Ⅱ④d			撮影日：2024年5月15日 撮影場所：ラファ、ガザ地区 撮影者：Mohmmed Mansour 協力：朝日新聞	